

新型インフルエンザに関するお願い

現在、メキシコ、米国を中心に新型(豚)インフルエンザによるヒト感染症およびヒト-ヒト伝播が報告されています。地域医療の維持のため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

ご心配な方、流行地に渡航後、発熱などの症状のある方は、医療機関には直接来院せず、まずお住まいの各保健所に設置される発熱相談センターに、ご相談下さい。

豚インフルエンザ感染症報告地域 (2009年5月1日現在):
メキシコ、米国(ニューヨーク市、カルフォルニア州、テキサス州、サウスカロライナ州、カンサス州、マサチューセッツ州、ミシガン州、ネバダ州、アリゾナ州、インディアナ州、オハイオ州)、カナダ、スペイン、ドイツ、ニュージーランド、スペイン、イスラエル、英国、スイス、オランダ。

※ 各地区保健所代表番号一覧 (夜間・休日は自動転送で対応)

青葉区	022(225)7211	石巻	0225(95)1430
宮城野区	022(291)2111	塩釜	022(363)5504
若林区	022(282)1111	大崎	0229(91)0714
太白区	022(247)1111	気仙沼	0226(22)6661
泉区	022(372)3111	仙南	0224(53)3121
		栗原	0228(22)2117
		登米	0220(22)6119

“咳エチケット”を守りましょう!

- 咳やくしゃみが出る時
- 咳やくしゃみが出そうになった時

まず、ティッシュで口と鼻を被いましょう。
(使用したティッシュはゴミ箱に捨てましょう。)
人ごみではできるだけマスクもつけましょう。

その後は、よく手を洗いましょう。
手洗い場が近くにない時は、ウェットティッシュも代用できます。

風邪・インフルエンザなどを防ごう

- 咳やくしゃみが出る場合はどうぞティッシュなどをお使いください。
- 咳が強い場合はマスクをおつけください。
- 医師や看護師もマスクをつけさせていただく場合がございます。

厚生労働省東北厚生局 東北大学病院感染管理室

現在、流行が懸念されている新型インフルエンザは、元来、豚に罹患するインフルエンザです。以前より豚で流行しており、通常、ヒトへは罹患しませんが、ごく少数の報告がありました。症状は、発熱・悪寒など通常のインフルエンザと似た症状と言われています。

2009年5月1日現在、メキシコ、米国での罹患者が中心であり、必ずしも欧州・アジアなどの域内で感染が拡大しているわけではありません。また、日本国内における新型(豚)インフルエンザの流行は認められません。現在、通常のインフルエンザが少数みられています。

現在のインフルエンザワクチンによる新型(豚)インフルエンザ予防効果は期待できません。新型(豚)インフルエンザも通常のインフルエンザと同様に、咳やくしゃみなどでヒトからヒトへ伝播します。

したがって、日頃からの手洗いやうがい、咳が出る際にマスクを着用するなど、基本的な感染予防の遵守が重要です。